

地域でのスポーツ活動での課題

- ・支える立場として、地域での第2の「仕事」ととらえる意識、人材の不足
- ・明らかに施設不足（特に鳴門市の場合）
- ・既存の施設では機能的にカバーできないところを改善しなければならないが、それを実現するための実績や交渉に時間がかかりすぎる
- ・まだまだ行政だけの責任にしがち。本来は住民1人1人の意識の改革とアクションの積み重ねが必要
- ・地域での活動家は多いが、種目やエリア、団体の利益だけど考えがち
- ・マネージメントや指導技術を養成する「しくみ」が必要
- ・地域で施設、指導者、資金をマネージメントする人材としくみが必要（総合型地域スポーツクラブの必要制）
- ・スポーツマネージメントで、自立できるだけのプロフェッショナルの確立
- ・中学高校からスポーツマネージメントを学ばせる
- ・大学の人材の活用まだまだできていない
- ・行政の中（スポーツ振興課など）と外（総合型地域スポーツクラブなど）のコーディネイターが必要
- ・少子化により保護者が子どもをかまいすぎて、子どもの逞しさが育ちにくい環境
- ・定年退職後の人材活用にも困難が増えた・・・ などなど

まとめ

スポーツを創るスポーツ

という意識・技術が必要